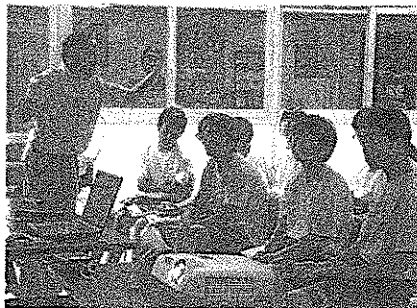


中東重雄さんの説明に真剣な表情で聞き入る西南中の生徒たち



宇宙の仕組みや 研究内容を学ぶ

西南中で出前授業

花巻

花巻市轟木の西南中(村)

田和代校長、生徒153人の2年生53人は7日、同校で

国際リニアコライダー(ILC)を学ぶ出前授業を受けた。

県南広域振興局が主催。

奥州市水沢区のNPO法人イーハトーブ宇宙実践センターのサイエンススクール

リーダー高梨拓(たか)さん(68)と

中東重雄(なかと)さん(72)が講師を務め、宇宙の仕組みや研究内容を解説した。ILCプロジェクトが宇宙誕生の謎に迫る上で必要な研究である

ことを強調した。生徒たちは研究によって医療や情報通信などが進歩する未来や、岩手への誘致で身の回りの環境が劇的に変わる可能性などについて関心を高めた。

瀬川仁志(せがわ)さんは「岩手にILCが来たらさまざまな仕事が必要になると分かった。そうならば自分も岩手で働きたい」と希望を抱いていた。